

# 木もれ陽

文責 平川 千秋

## 「学校再開」です

新年度早々の4月9日から「臨時休校」に入り、53日間にわたり家庭で過ごしていた生徒の皆さん、いよいよ今日から学校が再開されました。学習支援日に顔を合わせた級友もいますが、学級全員が揃うのは久しぶりかと思えます。今日は気分良く起きられましたか。そして、体調はいかがですか。



この2ヶ月間、この先どうになってしまうのだろう？勉強は？部活動は？進路選択は？等、さまざまな心配ごと、悩み、不安が出たことと思います。私自身、先が見えないというのは大きなストレスになるということを実感しました。「緊急事態宣言」は解除されましたが、コロナウイルス感染症そのものが終息したわけではありません。日常を取り戻すにはまだまだ時間がかかります。第5号でも触れたように「新しい生活様式」を創り出し、皆さんの協力で学校を居心地の良い生活の場に変化させていかななくてはなりません。そろそろ梅雨入りの季節です。これまで以上に体調管理に気を配り、マスク着用ということで熱中症にも気をつける必要があります。運動不足の人は、ケガにも一層注意しなければなりません。雨天時の登下校も心配です。ついつい心配が先に立ち、窮屈な再スタートになりがちです。

でも、皆さんはこれまでしっかり学校生活を送ってきた玉造中生です。当たり前前ができる、自分達で考えることができる立派な中学生です。そこで、最初の一週間は朝起きてから就寝するまでの“学校に行き、集団生活をする”リズムを取り戻し「落ち着いて行動すること」これを心がけていきましょう。リズムが戻れば、新しい目標に向かって力を発揮することができるはず。仲間と一緒に勉強する楽しさを十分に味わってください。

今日は学校再開初日ということで、全学級で改めて「新型コロナウイルス感染症」について学び、その予防に関わる「新しい生活様式」について考えました。学習時、給食時、清掃時、様々な場面で気をつけるべき点と行動の仕方について説明があり、皆さん自身がさらにどんなことに気をつけていけばよいかをまとめました。2、3年生は早速各教科の授業も始まりました。明日からは1年生も本格的に授業開始となり、今週中は教育相談が行われます。

6月中は成田市内小中義務教育学校全校で部活動を実施しないため、例年より下校時間が早くなります。少しゆとりを持って生活できるこの期間を有効に使い、本を読んだり、気になることを調べたり、考えたことをまとめたりしてみたいはいかがでしょうか。大げさに考える必要はありません。毎日の「生活のあゆみ」全ての行に自分の言葉で自分の思いを書き続けていく、まずはこれだけでOKです。毎日、決められた文字数で、自分の考えを書く。ある年、“全員が毎日「デイリーライフ」（その学校の「生活のあゆみ」のこと）7行書いて提出”を学級目標にして1年間続けた学級がありました。国語科の学級担任は確実に「思考し表現する」力の向上に繋がったと語っていました。あと10ヶ月、ぜひ挑戦してほしい取組の一つです。